



# コンパス住吉台

Tel:中学校 090-9148-1396 Tel:小学校 070-1287-8026

住吉台中学校区  
学校支援地域本部だより  
令和5年度版

NO. 2

2023年6月29日発行



## 児童センター「ポッチャ」に挑戦



5月29日、住吉台児童センターで、笠松会・住吉台グランドゴルフ倶楽部の方々の協力のもと、小学生が「ポッチャ」に挑戦しました。当初はグランドゴルフの予定でしたが雨で館庭が使えないため、室内でのポッチャ体験となりました。子どもたちは、指導を受けみるみる上達しました。的に向かって玉を上手く投げられた時、ラスト一投で勝敗が決まった時など、大きな歓声を上げていました。



## 運動能力テストボランティア



6月15日・16日の2日間、住吉台小学校で小学生の運動能力テストが行われ、ボランティアによる計測等のサポートが4年ぶりに行われました。中学生は中総体の振替休日にも関わらず多くのボランティア申込みがありました。中学生ボランティアは2日間で、のべ130名、地域の方、保護者の方はのべ35名。小学生は多くの方に見守られ、たくさんの声援を受けながら記録に挑戦しました。

ご参加いただいたボランティアの皆様、本当にありがとうございました。



・・・アンケートより、ボランティアさんの声・・・

保護者や地域の方からは「小学生の頑張っている姿に感動した。授業参観とは違う子どもの様子がみられるのでよかった。中学生が立派に活動していて頼もしかった」など。中学生からは「小学生が可愛かった。シャトルランの記録が良くて驚いた。自分が小学生の時中学生に憧れた。自分も役に立ちたいと思った。」などの感想が寄せられました。

### ◆ 中学生ボランティア情報 ◆

- ① 団地内一斉清掃…7月9日（日）集合場所、時間等は御家庭で確認してください。
- ② チャレンジ！The住吉台…7月15日（土）10:00～12:00⇒ボランティア募集中（6月末締切）
- ③ 小学校サマースクール…7月25日（火）26日（水）
- ④ 夏祭り翌日清掃…7月30日（日）

※③④については7月～ボランティア募集予定。コンパス掲示板を確認してください。





## 小学校



### ◆ 1年生 エプロン先生 ◆



・・・ボランティアさんの声・・・  
**毎週できることの増えていく1年生に会えるのが楽しみです。子どもたちは素直で可愛いく、毎回元気をもらえます。**

入学当初から夏休み前まで、1年生が小学校生活に早く慣れるようにと、1年生生活・学習サポーターが配置されます。今年度も11名の地域の方が、それぞれ週に1回、交代で入り活動しています。

入学当初は朝から帰りまで。学校生活に慣れてきた現在は、4時間目から給食、掃除を挟んだ5時間目の終わりまで（曜日により多少の違いがあります）、1年生の活動を見守ってくださいます。

今では給食の準備も自分たちでできるようになってきた1年生。エプロン先生との日々もあと1か月となります。

次年度のエプロン先生を募集中です。子どもの好きな方、週に1回程度小学校で活動されませんか。興味のある方はコンパス住吉台 070-1287-8026までご連絡ください。

### ◆ 5年生 米作り ◆

5月15日・16日、5年生が「住吉田んぼ」でしろかきと田植えを体験しました。しろかき体験に先立ち、田んぼの先生、萱場地区の奥山壽さんが、田んぼにかかる樹木の枝を伐採してくださいました。お陰で、田んぼには今まで以上に日が当たるようになりました。5年生は、稲の持ち方と植え方を教わりひとり3株ずつ田植えをしました。品種はもち米の「みやこがね」です。帰り道、ランドセルを背負って自分たちの植えた稲を見に来た5年生。これからの稲の成長もしっかり観察してくれそうです。日当たりのよくなった田んぼで、例年以上の稲の実りが期待できそうです。



### ◆ 第1回 防犯懇談会 ◆



・・・ボランティアさんの声・・・  
**手を振ってくれる子、ありがとうを言ってくれる子、あいさつをしてくれる子が増えています。毎朝の活動が楽しいです。**

5月31日、学校ボランティア防犯巡視員の方々、住吉台連合町内会長、PTA本部、健全育成委員会、中学校の校長先生、小学校の校長先生、教頭先生、コンパス住吉台が一堂に会し、児童生徒の登下校の様子や放課後の過ごし方などについて意見交換を行いました。また、会に先立ちボランティア巡視員の皆様に委嘱状が交付されました。

登校時、児童を送ってきた車が、車道の運転席側から子どもを降ろすことがある（児童の降車は校内の駐車場を使用することが決まっています）、コミセンの北側道路を猛スピードで走り抜ける車があるなど、児童の安全上好ましくない状況が報告されました。児童生徒の安全を守るため、一人一人が交通ルールや学校のルールを改めて確認していきましょう。